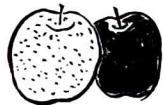


# 分科会 感想 2日め

## 自分で明確にしたい

人にとての「自立とは」を考えたくてきましたが、やはり自分の中でも「動きはじめる」と思っているんだなとあらためて思いました。(午前中の話をきいて)午後のお話で、もっと深めて聞く中で、自分で明確にしたいと思いました。(⑦進路・自立・大阪)



## 行政とどうつながっていくのか?

親の会、悩みを出し合しながら支えあっていく所とはかり思っていました。【が】行政とどうつながっていくのか?色々な方向性をさがし求めている親はどうつながっていけるのか。

企業の参入をどう考え方で判断していくのか?T子さんの課題をみると改めて勉強になりました。親の悩みも子の状況も複雑深刻になっていく中、受け止める側の心のしんどさも支えあえるつどいの場の必要性も再認識されました。【(1)手をつなぐ、その他・京都】



## 「働くかない自立」

変わるものではなく、楽しそうと思って一步ふみ出せた」という若者の話が印象に残りました。

「働くかない自立」というのは、難しいテーマだと思いました。(⑦進路・自立・東京)

## 子どもを信じて待つ

初めての参加でしたが、話を聞いてもらえて気持ちが楽になりました。「子どもを信じて待つ」難しいです。でも少しずつ子どもと成長していきたいです。

(①小学生・父母・)



## 自分の人生は自分のもの

自分の人生は自分のものとして生きていいという親の原真い。また不登校当事者からの体験も語られ「普通」「自立」「できない自分」などもう一度考えなおす時間でした。(⑥青(成)年・埼玉)

## くぐり抜けて

不登校をくぐり抜けてこられた方のお母さんの言葉が非常に貴重でした。人数ばかりでないこともあります。じっくり話を深めることができよかったです。(②中高・京都)



## わたしただけじゃない

障がいの分科会に参加発達障がいのお子さんとお母さんや、保護者さんや、親近感を感じての方々のお話を聞いていく。悩み事やエピソードなどに自分にもその気持ち全部じゃないだろけど、共感できる「みとうつなげること」が見つかりました。わざわざ来てじゃないというのは安心感と希望。エネルギーになります。(④障がい、その他・大阪)

## 本日

## 帰りのバス便



15:30~16:30

福島県立社会福祉会がマイクロバス4台でピストン運行されます。つどいへん応援ありがとうございます。

乗車協力金を集めます。ご当地お廻し時



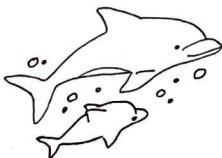
# 分科会 感想 2日目

## 人間本来のつながり

分科会でそれぞれの思いを出し合うことができ、やはり人間本来のつながり・関係ってこういうつながりが、どの子にもどの大人にもあればいいな、と思いました。(⑪医療・父母・大阪)

## 自分の生き方

父母の立場での発言、当事者の方の発言、そして胸に入ってきた。父母の苦しみ、それを乗りこえられた歩み。当事者の方の素直な発言は心にしみるようになってきました。世間の事を気にしないで、今、自分の生き方が充実しておればよい、やりたい事をしていく生き方、応援していければよいと思った。(⑦進路・自立・父母・)



## 弱さを認める

「症状をどうとらえるか」というお話をあった。症状を否定的にとらえるのではなく、私の一部としてとらえ、弱さを認めることが大切なことではないかと感じました。(⑪医療・父母・大阪)

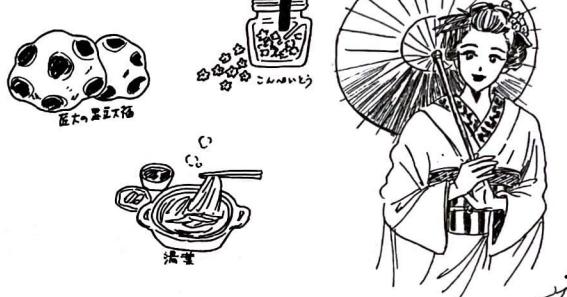
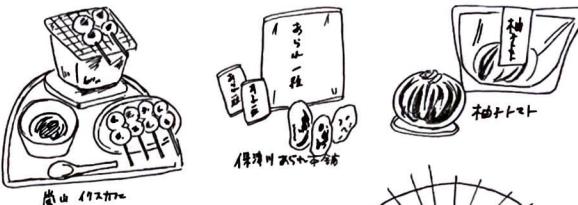
## 深みにございました

親の思い…深みにございました。我が子はどうであっても親は偉せになれる。話をしっかり聞いてくれる人、話が通じる(理解してくれる)人・仲間。こういう存在こそ大事。私たちは、学校は、子どもを「ヨシ・ヨシ」してきてかが問われます。(⑫非行・埼玉)

## 手書きの優しい文字

速報のいつもの手書きの優しい文字には、(⑩) みんなの感想を読みながら「うんうん」と共感です。こうして分科会以外の参加者のみなさんとリアルタイムで紙面で交流できるのは、全国のつどいならではですね。いつもほっこりあったかい気持ちになれる速報を、ありがとうございます。(その他・父母・大阪)

## 京都のお土産 イラストあれこれ...



これで、「つどい in 京都」のホームページにつながります!

★速報も見られます。

★感想などもこちらから

寄せる事もできます。

<https://zenkokuren.jp/tsudoi/>

## わすれ物・おとし物

